

風と土

経営とアート of SOZO 展

2019.9.1~9.23

入場無料



陶芸アーティスト

経営エッセイスト

須齋尚子 & 藻谷ゆかり

長野県 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館



◆陶芸アーティスト 須齋尚子

私は三浦半島の突端、三方を海に囲まれた港町の呉服屋に生まれ育ちました。海、空、そして大地からの恵みと、家業である着物の美や伝統文化によって培われた感性が、私の創作の礎であるように思います。30才からの長崎暮らしで九州の伝統に基づく陶芸に出会い、その後1年半滞在したサンフランシスコでの自由奔放な創作、信楽陶芸の森での国際色豊かな様々な作家からの学びから、創作も変化し、私自身も成長していきました。

私の作品には設計図がありません。臚げな頭の片隅のイメージやふとした閃きからスタートして、後は土と手の連動に委ねています。私の中の風と土。生まれ来た作品が、出逢えた方々にとって、何らかのSOZOのきっかけとなることを願っております。

◆経営エッセイスト 藻谷ゆかり

私は横浜市で生まれ育ち、須齋さんとは鎌倉の中学校の同級生です。私が経営エッセイストとして初めて上梓した本、「衰退産業でも稼げます 代替わりイノベーションのセオリー」を書き下ろした際に、隠れたテーマ「風と土」が浮かびあがりました。このテーマに対して、須齋さんは「風は動くもの、土は動かないもの」、「風は見えないもの、土は見えるもの」という考え方を私に教えてくれました。この考え方をさらに進めれば、「風」は変化を起こすイノベーションであり、「土」は基盤となるファンデーションとも言えます。

「風と土 経営とアートのSOZO展」をご覧になった方が、何かを感じ考えて、そして心の中にあることを言葉にさせていただく機会になれば幸いです。



稼げます 衰退産業でも

「代替わりイノベーションのセオリー」
藻谷ゆかり

新潮社

◆藻谷ゆかり講演会

2019年9月15日 14:00~15:30

「衰退産業でも稼げます 代替わりイノベーションのセオリー」の著者、藻谷ゆかりがこの本を書ききっかけや裏話、本で取り上げた長野県の7つの事例についてお話しします。また陶芸アーティストの須齋尚子とのトークセッションもあります。

- ◆参加費 2000円
(特別展の入館料800円とSOZOノート500円込み)
- ◆申込方法 梅野記念絵画館へ電話(0268-61-6161)かメール(umenokinen@ueda.ne.jp)でお申込みください
先着50名様

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

- 〒389-0406 長野県東御市八重原935-1
- 開館時間：9:30~17:00
※最終入場受付は30分前まで
- 休館日：9/2, 9/9, 9/17
- 0268-61-6161
- http://www.umenokinen.com

- 同時開催：特別展「私の愛する一点展」
日本全国のアートコレクターが名品を展示。
- 観覧料：800円
- 毎月3日曜日は絵画館からの送迎バスあり
(要予約:0268-61-6161)
- アクセス
・上信越道東部湯の丸ICより20分
・しなの鉄道「田中駅」よりタクシーで15分

